

西暦	概要	出典
—	三国時代の魏から南北朝の齊・梁の時代に至るまで、 倭 国王は代々中国と交渉があった。	隋書
—	国王の姓は 阿毎 氏、初代国王・ 天 御中主から彦瀲まで筑紫城に住み、神武天皇の時に都を大和州に移した。	新唐書
600	開皇二十年に 倭王・阿毎 多利思比孤が隋に遣使した。	隋書
581 ~ 600	用明天皇（（阿脱？）） 目 多利思比孤）が隋の開皇末にはじめて中国と国交を通じた。	新唐書
581 ~ 600	隋の開皇年間に聖徳太子は使者を遣わし、海路中国に来て法華経を求めさせた。	宋史
607	倭王・阿毎 多利思比孤が隋に遣使した。	隋書
608	隋は裴世清を 倭 国に派遣した。	隋書
604 ~ 617	隋の煬帝の時に煬帝は使者を遣わして 日本 国の役人に錦綫冠を賜った。	新唐書
631	倭 国王の姓は 阿毎 氏で、倭国王は使者を遣わしてその土地の産物を太宗に献上させた。	旧唐書
631	日本 国は使者を派遣して唐に入朝させた。	新唐書
648	倭 国王は太宗に上表文を届けた。	旧唐書
650 ~ 656	永徽年間の初め、 日本 国王の孝徳が即位し、改元して年号を白雉に改めた折に、琥珀とメノウを唐に献上してきた。 ほどなく、 日本 国では孝徳が死に、その子の 天 豊財（斉明天皇）が位を継いだ。	新唐書
670 ~ 674	唐の咸亨年間の初めに国名を 日本 と改めた。	明史